

《経営分析参考指標》

2017年度決算分-病院の概要-

<機能性>

区分		一般病院	療養型病院	精神科病院	
施設数	施設	683	457	234	
病床数	床	201.6	158.4	278.6	
利用率	%	82.8	90.1	89.7	
在院日数	日	19.1	87.8	264.3	
入院外来比	-	1.74	0.50	0.34	
新患率	%	9.2	7.8	2.2	
1日患者数	入院	166.9	142.8	249.9	
	外来	290.7	71.6	85.7	
1床当たり医業収益	千円	21,097	10,293	6,284	
1床当たり医業費用	千円	20,847	9,815	6,167	
1床当たり医業利益	千円	250	478	118	
患者1人1日当たり 医業収益	入院	48,576	24,800	16,234	
	うち室料差額	1,068	360	202	
	外来	12,923	9,932	8,898	
1施設当たり 従事者数	医師	常勤	27.6	6.0	8.2
		非常勤	6.5	2.9	2.6
	看護師・准看護師・看護補助者	175.4	99.2	131.4	
	その他	143.2	73.9	59.1	
	計	352.6	182.0	201.4	
患者規模100人 当たり従事者数	医師	常勤	10.5	3.6	2.9
		非常勤	2.5	1.8	0.9
	看護師・准看護師・看護補助者	66.5	59.5	47.2	
	その他	56.1	45.0	21.7	
	計	135.4	109.8	72.8	

<収支の状況>

収支の 状況	収益	経常収益	医業収益	%	98.3	98.0	97.7
		構成比	医業外収益	%	1.7	2.0	2.3
		医業収益 構成比	入院収入	%	69.5	79.1	84.6
			うち室料差額	%	1.5	1.1	1.1
			外来収入	%	26.4	12.8	12.4
			その他	%	4.1	8.1	3.1
	費用	医業収益 に対する 医業費用 の割合	人件費	%	52.5	59.7	62.6
			医療材料費	%	21.4	8.5	6.9
			給食材料費	%	1.6	3.3	5.4
			うち入院患者1人1日当たり	円	1,134	1,044	1,043
			経費	%	18.3	19.5	18.7
			減価償却費	%	5.1	4.3	4.5
			計	%	98.8	95.3	98.1
			医業収益対医業利益率	%	1.2	4.7	1.9
	経常収益対経常利益率	%	1.5	5.5	2.8		
	従事者1人当たり年間医業収益	千円	12,072	8,987	8,696		
	労働生産性	千円	6,479	5,785	5,602		
	従事者1人当たり人件費	千円	6,334	5,366	5,439		
	労働分配率	%	97.8	92.7	97.1		
	経常収益対支払利息率	%	0.8	0.6	0.6		

注1) 医育機関附属病院及び医師会立病院は含まれていません。

注2) 「1施設当たり従事者数」、「患者規模100人当たり従事者数」、「従事者1人当たり年間医業収益」、「労働生産性」及び「従事者1人当たり人件費」は、常勤従事者数（非常勤従事者の常勤換算後の従事者数を含む）により算出しています。

注3) 給食材料費には、委託給食費を含んでいます。

注4) 数値は四捨五入のため、内訳の合計が合わない場合もあります。

注5) 開設後1年未満の病院は含まれていません。

経営指標一覧（病院）

経営指標		算式	説明
機能性	1 利用率	年間延べ入院患者数 ÷年間延べ許可病床数	病院のもつ病床数に対して、どの程度の利用が行われたかを示す指標です。 本指標の値が高いほど病床機能が有効に活用されていることとなり、収益増加に寄与することになります。
	2 在院日数	※1	新たに入院した患者が退院するまでにかかる平均期間から、病院の診療行為機能を判断する指標です。 本指標の値が短いほど効率的に医療資源を活用していると言え、一般的に収益増加に寄与することになりますが、病床利用率との関係にも注意が必要です。
	3 入院外来比	1日平均外来患者数 ÷1日平均入院患者数	1日当たりの入院患者数と外来患者数の比率から病院の性格を判断する指標です。 診療科目や病床規模により値は異なってきますが、一般的には値が高いほど患者確保ができており、収益増加に寄与することになります。
	4 新患率	新来患者数 ÷年間延べ外来患者数	外来患者数に占める新規患者（初診料を支払った外来患者）の割合を示す指標です。 本指標の値が高いほど診療行為のニーズが高いことから、外来収益増加に寄与することになります。
	5 1床当たり医業収益	医業収益 ÷平均許可病床数	医業収益を病床数で割り戻した収益であり、病院全体の収益性を判断する指標です。 本指標の値が大きいほど収益増加に寄与することになります。
	6 患者1人1日当たり 医業収益（入院）	(入院診療収益+室料差 額収益) ÷年間延べ入院患者数	入院患者1人1日当たりの入院診療収益及び室料差額収益から、診療行為の対価としての収益額の多寡を判断する指標です。 本指標の値が大きいほど収益単価が高いため、収益増加に寄与することになります。
	7 患者1人1日当たり 医業収益（外来）	外来診療収益 ÷年間延べ外来患者数	外来患者1人1日当たりの外来診療収益から、診療行為の対価としての収益額の多寡を判断する指標です。 本指標の値が大きいほど収益単価が高いため、収益増加に寄与することになります。
	8 患者規模100人 当たり従事者数	※2	患者規模100人に対して配置される職員数からその多寡を判断する指標です。 本指標の値が小さいほど費用削減に寄与することになります。 ただし、良質なサービスを提供する上では適切な値にとどめることも重要です。

		経営指標	算式	説明
費用の適正性	9	人件費率	人件費 ÷ 医業収益	医業収益に対する人件費の占める割合を示す指標です。 本指標の値が低いほど収益に対する費用の負担は軽くなります。 ただし、良質なサービスを提供する上では適切な値にとどめることも重要です。
	10	医療材料費率	医業材料費 ÷ 医業収益	医業収益に対する医療材料費の占める割合を示す指標です。 本指標の値が低いほど収益に対する費用の負担は軽くなります。 ただし、良質なサービスを提供する上では適切な値にとどめることも重要です。
	11	給食材料費率	給食材料費 ÷ 医業収益	医業収益に対する給食材料費の占める割合を示す指標です。 本指標の値が低いほど収益に対する費用の負担は軽くなります。 ただし、良質なサービスを提供する上では適切な値にとどめることも重要です。
	12	経費率	経費※3 ÷ 医業収益	医業収益に対する経費の占める割合を示す指標です。 本指標の値が低いほど収益に対する費用の負担は軽くなります。 ただし、良質なサービスを提供する上では適切な値にとどめることも重要です。
	13	減価償却費率	減価償却費 ÷ 医業収益	医業収益に対する減価償却費の占める割合を示す指標です。 本指標の値が低いほど収益に対する費用の負担は軽くなります。 ただし、良質なサービスを提供する上では適切な値にとどめることも重要です。
	14	従事者1人当たり人件費	人件費 ÷ 年間平均従事者数	従事者1人にかかる平均人件費から給与水準を示す指標です。 本指標の値が小さいほど費用削減に寄与することになります。 ただし、良質なサービスを提供する上では適切な値に留めることも重要です。
生産性	15	経常収益対支払利息率	支払利息 ÷ 経常収益	経常収益に対する支払利息の占める割合を示す指標です。 本指標の値が低いほど収益に対する費用の負担は軽くなります。
	16	従事者1人当たり年間医業収益	医業収益 ÷ 年間平均従事者数	従事者1人当たりどの程度の医業収益を得ているかによって効率を判断する指標です。 本指標の値が大きいほど職員の収益獲得力が高いことから収益増加あるいは費用削減に寄与することになります。
	17	労働生産性	付加価値額※4 ÷ 年間平均従事者数	従事者1人がどれだけの付加価値を生み出したかを示す指標です。 本指標の値が高いほど、各々の従事者が効率よく価値を生み出し、円滑な運営管理が行われているといえます。

	経営指標	算式	説明
生産性	18 労働分配率	人件費 ÷付加価値額×4	付加価値が人件費にどれだけ分配されているかを判断する指標です。 本指標の値が低いほど増減差額の割合は高まります。ただし、良質なサービスを提供する上では適切な値に留めることも重要です。
	収益性	19 医業収益対 医業利益率	医業利益 ÷医業収益
20 経常収益対 経常利益率		経常利益 ÷経常収益	本業である医業収益に受取利息等を加えた、病院に通常発生している収益から得られた利益を示す指標です。 本指標の値が高いほど収益性が高い事業といえます。

※ 1「在院日数」は次の式で算定しています。

$$\text{在院日数} = \text{年間延べ患者数} \div \{ (\text{新入院患者数} + \text{退院患者数}) \div 2 \}$$

※ 2「患者100人当たり従事者数」は次の式で算定しています。

$$\text{患者100人当たり従事者数} = \text{年間平均従事者数} \div (\text{1日平均入院患者数} + \text{1日平均外来患者数} \div 3) \times 100$$

※ 調理員及び栄養士に係る数値については (年間平均従事者数 ÷ 1日平均入院患者数) × 100 で算出しています。

※ 3「経費」は次の式で算定しています。

$$\text{経費} = \text{医業費用} - (\text{人件費} + \text{医療材料費} + \text{給食材料費} + \text{減価償却費})$$

※ 4「付加価値額」は次の式で算定しています。

$$\text{付加価値額} = \text{医業収益} - (\text{経費} + \text{医療材料費} + \text{給食材料費} + \text{減価償却費})$$